

令和2年1月

結城市教育委員会定例会議事録

結城市教育委員会

## 令和2年1月結城市教育委員会定例会

- 日 時 令和2年1月24日（金曜日）
- 場 所 駅前分庁舎 多目的スペース会議室
- 出席委員 小林仁教育長  
中村義明委員（教育長職務代理者）  
北嶋節子委員  
岩崎勤委員  
赤木信之委員
- 教育委員会事務局  
教育部長 鶴見俊之  
学校教育課長 佐山敦勇，指導課指導主事 弦巻文男  
生涯学習課長 関根智，スポーツ振興課長 駒井勝男  
学校教育課主幹 遠井脩作

### 1 付議案件

- (1) 議案第1号 令和元年度教育事務点検・評価結果報告書について

### 2 報告事項

- (1) 報告第1号 教育長報告について
- (2) 報告第2号 令和元年度卒業式及び令和2年度入学式について
- (3) 報告第3号 第12回「新川和江賞～未来をひらく詩のコンクール～」について
- (4) 報告第4号 第20回結城シルクカップロードレースについて

◎議案第1号 令和元年度教育事務点検・評価結果報告書について

学校教育課長 それでは、委員の皆様お揃いですので、教育委員会を始めさせていただきますと思います。

それでは、小林教育長より開会宣言をお願いいたします。

教育長 委員の皆様には、先週は文科省の研修ということで大変お疲れさまでした。

それでは、本日出席委員は4名でございます。定数に達しておりますので、ただいまから教育委員会1月定例会を開会いたします。

議事に入る前に、定例会の会議録署名人の指名をいたします。

岩崎委員に署名をお願いいたします。

なお、本日の委員会は傍聴希望が出ていたところですが、まだお見えになっていないのですので、見えた段階でおいでいただくような形になるかと思います。よろしくをお願いいたします。

それでは、これより議事に入ります。

次第2、議案上程は1件でございます。

議案第1号 令和元年度教育事務点検・評価結果の報告について、事務局より説明をお願いいたします。

学校教育課長 資料の1ページになります。

議案第1号 令和元年度教育事務点検・評価結果報告書について。

上記議案を提出する。

令和2年1月24日提出、結城市教育委員会教育長、小林仁。

本日お配りした別添の資料をご覧ください。

こちらの報告書ですが、先月12月の定例会において、外部評価委員からの報告書に基づき、教育委員会の評価を取りまとめた内容を報告書として作成したものでございます。

報告書の7ページをご覧ください。A3の横判です。

点検・評価した事業は12の事業となっております。

内容については、先月の12月25日に委員さんに最終点検・評価をいただいた結果となっております。再度ご確認くださいと思います。

この報告書について承認いただければ、今後は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育委員会として結城市議会へ提出いたします。

その後、公表として、結城市ホームページに掲載することとなります。ご審議のほどよろしくお願いいたします。以上です。

教育長 ただいま事務局より議案第1号の説明がございました。

ご質問等ございましたらお願いいたします。

この社会人TT配置事業というのは、最初の外部評価では現状のままというような部分でありましたが、その後、外部評価等で拡充ということで、

これはどのようなあれなんでしょうかね。

学校教育課長　やはりT Tの講師につきましても、介助員につきましても、学校からの要望が多いということがありますし、今後人数の増ということで予算要求をしていっております。以上でございます。

教育長　じゃ、あと予算要求も拡充して対応していただいていると。ありがとうございます。

そのほかいかがですか。

赤木委員さん、お願いします。

赤木委員　今、本当に採用試験合格率が非常に高くなってきて、教員免許を持っている人が本当に一般でいなくなってしまうと思いますよね。そのあたりを踏まえて、このT Tの講師を教育委員会としてはどのように確保していくかということをやっぱり十分検討しておかなくてはならないことじゃないかと思うんですね。そこらのところで、今現在でT T希望あるいは少人数加配希望者は来ているんですか、応募は。

教育長　お願いします。

学校教育課長　現在5人のT T講師ということで配置して、ご協力いただいておりますけれども、今回市の採用制度が変わりまして、来年度からは会計年度任用職員ということで、今月いっぱい応募期間中でありまして、もちろん5人含めてどのぐらい応募があるかというのはちょっとまだ情報が入ってきていないところなんですけれども、指導課と連携して、そういった免許を持っている方々についてはお声がけさせていただいております。

赤木委員　例えばもう子育てが終わって一段落している40代ぐらいの女性で教員免許を持っている人あたりなんか、これから免許制度のあれで失効してしまう方がかなり出てきますよね。私らの年代からだったと思うんですけれども、そういうことも踏まえながら、どんどんそういうところを市報なんかにはアピールして、公募をするのであれば、公募という形で前もってやっっていけばいいのかなと思いますけれどもね。

教育長　ありがとうございます。本当に免許を持った方を発掘するというような状況が今求められているところで、T Tだけでなく、実際の欠員補充であるとか、研修補充であるとか、育休の後の補充であるとか、そういうものも含めて非常に苦慮しているところでございます。免許は講習を受ければ、また活用できるのだけれども、年数たって期限が切れてしまうと、新たに講習を受けていただくというような、結局はお金もかかることなんですよね。その辺の制度も含めて、免許を持っている方の発掘、また、更には依頼という部分を計画的に年度中途からも含めてやっっていくと、その期間だけをかけても、なかなか厳しい状況でもありますので、今後も確保に努めていきたいと思っております。ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

ほかに質疑はよろしいですか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

教育長

質疑がなければ、議案第1号についてお諮りいたします。

議案第1号について原案のとおり決定することに賛成の委員の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

教育長

ありがとうございます。挙手満場。

それでは、議案第1号は原案のとおり決定いたします。ありがとうございました。

## ◎報告第2号 令和元年度卒業式及び令和2年度入学式について

続きまして、次第3, 報告事項でございます。案件は4件でございます。

報告第1号は教育長報告になりますので、私から報告をさせていただきます。

お手元の資料2ページ, 3ページをお開きください。

教育長報告について。

上記のことについて別記のとおり報告する。

令和2年1月24日提出, 結城市教育委員会教育長, 小林仁。

3ページにお進みください。

進路関係でございますが、今ちょうど中学校は三者面談を実施中または先週あたりで終えたというような状況でございます。

(1) 高等学校の入学試験日程等については、そこにあるとおり、茨城県立、栃木県立、そのような予定で進めて、今後願書等の出願が2月当初に行われるというような状況でございます。

(2) の特別支援学校、来年度特別支援学校に15人の児童生徒が結城市のほうから中学または転入学するということでございます。結城特別支援学校につきましては13人、小学部のほうでは新1年として6人の児童が入学をします。新3年で1人転入学と。新5年で1人, 新6年で1人。中学部に新1年として4人入学をしてということでございます。下妻の特別支援学校につきましては2人と、小学部新1年に1人, 中学部の新1年に1人というようなところでございます。結城特別支援学校については知的障害、そして下妻特別支援学校については肢体不自由というようなところでございます。

(3) の茨城県立古河中等教育学校、また、茨城県立下館第一高等学校附属中学校、それぞれそこに書いてあるような人数で受験したところです。22日に発表がございまして、古河中等については8人の合格者、そして、下館第一高等学校附属中学校は5人の合格者が出ているところです。8人と5人と。今それぞれのところに入学者を提出してございまして、その提出をした合格者については入学予定証明書というのが発行されて、それを学校、さらには教育委員会のほうに提出をするというようなことで、今手続が進められているところでございます。

なお、もし合格した方で辞退等が出たときには、その後には欠員の補充の

ための、また補欠入学というようなことがこの後、手続が29日までそういう期間がございませう。

合格した人がやはり別なところへ行きたいとか、そういう意味で辞退者が出たときにそのようなことがこの後、1月中に進められるところございませう。現在のところ、辞退するというような話は市内では聞いてはいないところございませう。

(4)の私立中学校の進学につきましては、そこにありますように、國學院栃木、開智中、これはさいたま市にあるところございませう。

また、秀明中、これはやはり埼玉の川越市のほうにある私立中学校で、いずれも中高一貫というようなところの中学のところに入塾していくというような状況ございませう。

2の読書奨励賞、10月末現在での実情ございませう。この後、3学期末までに児童生徒それぞれ読書に取り組んで、例年県の教育長賞のほうは多くの児童が50冊を読破するというか、そういう形で取り組んでいるところございませうので、今後、子供たちの達成者が多く出てくるころかなと見ているところございませう。

また、巡回文庫ということで、平成27年から毎日新たな書籍を別枠の予算で購入しまして、巡回文庫として今年度は250冊の新しい書籍を小学校で巡回しているというようなところございませう。

3のその他ございませう。

(1)のいばらきっ子郷土検定県大会ございませうが、2月1日土曜日に実施されると。これは県民文化センター、名称は今ヒロサワシティ会館ですか、そういうような名称でなっているようございませうが、そちらで実施されるようございませう。今日お手元に配られている問題は、市内の中学生が市内でテストに取り組んだもので、その結果の優秀だった学校に今回は出ただくということで、結城南中学校が代表で出てくれるところございませう。

これまでも結城東中学校はかなりずっと連続して出ていて、全体で準優勝とかそういうのをしている、昨年は結城中が出場して、やはり優良校と言うんでは、優良賞という準決勝まで進出したというようなところございませう。ことしも南中が非常に頑張っている、今その大会に向けて練習を積んでいるところございませう。

(2)の2月5日につきましては、(3)とダブっているところございませうが、県の市町村教育長協議会等研修が5日に、また、第3回結城市学校・警察連絡協議会が予定されているところございませう。

(4)の2月8日につきましては、青少年豊かな心を育む大会、アクロスのほうで実施されるようございませう。

また、(5)の2月9日、第12回新川和江賞につきましては、この後、担当課のほうから詳細については説明があるところございませう。

(6)、2月12日、給食センター運営審議会がセンターで実施されるようございませう。

(7)の2月16日、第20回結城市シルクカップロードレース大会につきましては、この後、担当課のほうから詳細の説明がごございます。

(8)小学校の入学説明会、新たに来年度入学する児童の保護者に説明会をこれから小学校で、きょうからスタートするところをごございます。江川北小が本日、そして、31日、3日、4日と、そこにあるような学校が実施予定でいるところをごございます。

参考としまして、インフルエンザの学級閉鎖等の状況につきましては、別紙でお手元にお配りしているところをごございまして、今週は結城小学校の2学級が現在学級閉鎖中というようなところで、比較的流行が抑えられているかなというような状況をごございます。

この後がまたA型、B型と両方出ているような状況でもございまして、さらに手洗い、うがい等、予防に努めていきたいと考えているところをごございます。

2番の1月26日、男女共同参画宣言都市15周年記念シンポジウムにつきましては、お手元に資料が配付されているところをごございます。もしご都合がございましたら

また、2月15日は健康づくりフォーラム2019、健康づくり講演会、これは喫煙関係の部分の講演というものが大きく取り上げられているところをごございます。

以上、教育長報告とさせていただきます。

ご質問等ございましたらお願いいたします。

赤木委員さん、お願いします。

赤木委員

進路関係についてちょっとお伺いしたいのですが、1つは茨城県立の追検査3月10日とあるんですけども、これはどういう追検査。

教育長

これはインフルであるとか、またはそういう流行性の疾病でどうしても当日受験ができないという場合に、医者証明持って、その日でなく、追検査のときに受験ができるという制度でございまして、保健室の受験も可能なんです。だから、こちらでやってもいいんですが、保健室でやると追検査はできないというようなことで、両方選択肢はあるんですけども、インフルの場合には別日にやったほうがコンディショナルにはね。これが昨年度から茨城県で取り組まれるようになったところをごございます。栃木はこれはやってない。

赤木委員

やっぱり5教科ですか。

教育長

これは同じ5教科でやっています。

赤木委員

ありがとうございます。それから、あと2つあるんですが、1つは茨城県立下館一高等学校附属中学校9人ということなんですが、この内訳はわかりますか。

教育長

詳細は、じゃ、一旦会議を閉じます。

( 休 憩 )

教育長

再開いたします。

赤木委員 特別支援学校で、それぞれの結城特別支援学校とか下妻特別支援学校に行く子はこれで把握できるのですが、結城市は小学校、中学校とも特別支援教育が非常に充実しているというふうな評判になっている部分かと思うんですけれども、小学校の特別支援学級から中学校の特別支援学級に行く生徒というのは人数はある程度把握はされている。

教育長 どうですか。

指導課弦巻指導主事 赤木委員さんのご質問にはっきりした答えはないのですが、今年度、教育支援委員会のほうで新規のお子様とか、あるいは継続のお子様とかということで、審議をした児童生徒数は合計126名おりました、うち特別支援学級のほうは適ではないかという審議で結果が出たお子様は89名ということになってございます。

教育長 それは新たな部分、そうじゃなくて継続と新規を含めて。

指導課弦巻指導主事 はい。

赤木委員 小学校から中学校へ行くのに継続という生徒数までは  
指導課弦巻指導主事 手元に資料がないので、申しわけないんですけれども。

赤木委員 わかりました。

教育長 後でまたそういう現状を、学級編成上の審査が今事務所のほうで今日行われているところですので、そうすると在籍が特別支援学級で知的とか情緒とか言語がそれぞれ何年生に何人いるというような数字がおおよそ確定していきますので、その辺のところをまたご報告してまいりたいと思います。

赤木委員 ありがとうございます。この間は手のつなぐ子らの学習発表会で、非常に良い発表を各学校やってくださったんですが、やっぱりそういう部分でも特別支援に対する力の入れ方というのは結城市の1つの特色になるかと思うんで、できれば本当に小学校から中学校に進学するときに、大方は小学校では特別支援学級に入級しているけれども、中学校では普通学級という親の希望にもなってくるかと思うんですけれども、そういう中で特別支援学級でも充実した指導がされているんですよという保護者への啓発というか、そういうこともやられていく必要があるのかなと思うんですが、もう本当に先生方よくやってくださっていて、すばらしい発表会でよかったなと思って、ありがとうございます。

教育長 ありがとうございます。具体的な今年度の来年度へ向けての特別支援学級等の在籍等については、また改めて資料等を提示できるようにしたいと思います。ありがとうございます。

そのほかございますでしょうか。

中村委員 ちょっとよろしいですか。

教育長 中村委員さん。

中村委員 進路関係で関連しているんですけれども、これからやっぱりちょっと組織的というか、体系的に考えていかなければならないなと思うんですね。

1つここに提案された古河中等学校ですね。どんどん増えてきますよね。



18人のうち8人という結構狭き門だと思うんですね。どんどん増えてくるし、下館一高の附属中学校もこれからどんどん充実していくし、そのほかの今までの普通高校も附属校を新設するということがあれば、そういう入試までの流れみたいなものも全部含めて教育改定というか、結城市の教育ですよね、機構改革みたいな、そういったものも必要になってくるかもしれないですね。もっと広げると、例えば統廃合みたいな問題も入ってくるし、実は市の第6次総合計画が始まりますよね。あれ5カ年ですかね、やっぱり。

教育長                   そうですね、5カ年。

中村委員               5カ年だと5年後先というのは、かなり変化が顕著に出てくる。

学校教育課長       総合計画は基本的には10年で、前期5年ということで、5年後にやって、再度計画するということなので、基本的には10年スパン。10年です。

中村委員               6次というのは……

学校教育課長       6次総自体は10年の計画です。

中村委員               例えば2020年から10年間。

学校教育課長       はい。

中村委員               そうすると、もうかなりそれ以上に変化が実際には見られてくると思うので、その10年先をとというのは新しい小林市長さんが言ったよね。5年、10年を見通しということと全く合致するんですけども、特にこの教育界では、きっとこの問題はどんどん新しく変わっていくだろうし、そのほかにたくさんありますよね。ハード面の設備の拡充であるとか、それに伴ういろんな組織が出てくると思うんですが、そういったところを例えば考えたときに、例えば教育部として第6次総合計画などに関わっていく方というのは中心になるのはどのような方なんですか。

教育長                   お願いします。

学校教育課長       今現在、ワーキングチームというのをやってまして、教育委員会であれば学務係の廣江係長とか、指導課での金田先生、そういった方が各課1人ぐらいずつは代表でチームに入って、細かい、まずはこれまでの5次総の見直しから始まってということで進み始めております。

中村委員               そのためには、私が考えるのに、例えば事務局の方だけだとかなり厳しいかなと思うんですね。研修等は当然するんでしょうけれども、やはり絵に描いた餅じゃなくて、実質やっぱり機能する総合計画でありたいし、具体的にはなかなか盛り込めないかもしれないんですが、より具体的にやっぱり盛り込んでいくことが新しい結城市の教育がやっぱり伸びる1つの施策になるんですね。

だから、その辺のやっぱり人選というか、ワーキングチームなんかのやっぱりあり方も検討するというのは今だと思うんですね。かなり物すごいボリュームあると思います、今回は。ちょっとそれ若干懸念するところがあったので。

教育長           ある程度の形になってくれば、いろんな方に目に触れるような体制をや  
って行くわけですね。

学校教育課長    ワーキングチームのメンバーはもちろんおりますけれども、その方が出  
すだけじゃなくて、それはもちろん課の全体で協議して、課の方向性、今  
後の施策を考えていくわけなので、その人だけの考えではありませんので、  
その辺は全体で協議していくと思います。

中村委員        そうゆう風に頑張ってもらえばいいと思うんですが、柔軟な考えで、  
あとはやっぱりこういう特別、やっぱり今までのあれと違うぞと。プロジ  
ェクトチームつくるといふ、それがワーキングかもしれないけれども、  
よりやっぱり突っ込んだプロジェクトチームといふか、もっと拡大しても  
いいと思うんだけどね。学校関係の人間も入れたりとか、プロジェクト  
チームをやっぱり作って行って当たっていかないと、後でまた話がある  
と思うんですけども、文科省の研修の後の報告、そういった中にも出て  
くるかもしれないんですけども、かなり他所の市町村なんかは進んでい  
るなという感じはしたんで。

教育長           これからの変化というのが物すごく大きいね。状況がね。今までのスピ  
ードとはまた違う。

中村委員        それは今でしょうということだと、そういう感じしたものだから。

教育長           今は4次総のほうの検討が、実際には今年度というのではなくて、来年  
度までかける状況だよな。

学校教育課長    はい。

赤木委員        結城市の中ではそういう総合計画をつくるある程度素案といふかでき上  
がった段階でホームページなんかパブリックコメントでやっぱり出され  
ているんですか。

学校教育課長    パブリックコメントは必ず行います。

赤木委員        そうすると結構興味関心のある人は、それを見て意見を述べてくる。そ  
れをまた参考にといふことにもできるんでしょうからね。

教育長           かなり学識じゃなくて、いろんな皆さんが入られているんでしょう、そ  
の検討委員会のほうにはね。

学校教育課長    階層別の協議会があります。協議会といふか委員会がありますので。

中村委員        委員会。後で話しますが審議会とは別ですよな。

学校教育課長    審議会だと思います。

中村委員        審議会、私、その前にないですか。審議会なんて調査委員会みたいな審  
議会じゃなくて、実質審議会って意外とはい、よおごさんすみたいな、そ  
んな感じになってしまうんだよな。自分が色んなところがかかわってきた  
ものを見ると、大体もうできて、提案するほうもいい加減なものを出せな  
いといふことがあると思うんだけど、出てきたものをこれでよろしい  
ですか、まあいいでしょうといふ。それからさらに、これは時系列で言う  
と、何か提案したときに、それがもう変更はできないような、そういった  
時点で例えば審議会ですら最終決定をするとか、そういうことになってしまう

と、もうそこで終わりなんで、そういう時系列を考えて、やっぱり審議会の内容をどういう風に持っていくかというのもあるんですよ。

確かに審議会、きっとすばらしい人たちも入っていると思うので、だから、そういったものが充て職さんも結構多いんで、そこで私、懸念がするんだよね。それはそれでいいとしても、だから、審議会の持ち方みたいな、あと内容の生かし方みたいな、そういったものもきちっと検討してもらうことも必要じゃないかな。

今までこうだったからこうじゃなくて、今度違うぞという、そのスタートの観点から進めてもらった方が良いかなという風に、そういう気がするんです。

教育長 ある程度のワーキングやっていて、どんな内容が課題になっているのか、そういうものが見えてきたら、委員さん方の色んな意見いただきながら……

学校教育課長 随時報告していきたいと思います。

教育長 そういう機会を少しでもやっていかないと、多分いろんな視点が必要になってくるでしょうから、これから。でき上がってからというのはもうなかなか厳しい状況である。ありがとうございます。

そのほかいかがでしょうか。

教育長の報告についてはよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

教育長 ありがとうございます。

教育長報告については以上といたします。

## ◎報告第2号 令和元年度卒業式及び令和2年度入学式について

続きまして、報告第2号 令和元年度卒業式及び令和2年度入学式について、事務局よりお願いいたします。

学校教育課長 4ページをご覧ください。

報告第2号 令和元年度卒業式及び令和2年度入学式について。

上記のことについて、別記のとおり報告する。

令和2年1月24日提出、結城市教育委員会教育長、小林仁。

別添の4枚の資料をご覧ください。

令和元年度小中学校の卒業式ですが、中学校については3月12日木曜日、小学校が3月19日の木曜日ということで、卒業式と入学式については輪番というか、1校ずつ学校回動ということで、ぐるぐる回っている状態であります。

中村教育長職務代理におかれましては、まだ今現在、副市長が不在ということになっておりまして、中学校のほうの結城南中学校、通常では副市長なんですけれども、今回は中村教育長職務代理にお願いしたいと思っておりますので。小学校もあるので、2つになってしまうんですけれども、すみませんが、よろしくお願いいたします。

2枚目が各卒業式の受け付け開始の時間ということでなっております。  
こちら今日承認になれば、各学校にこれを報告、連絡して、各学校からそれぞれ委員さん方には案内状が届くということになりますので、その際はよろしくお願ひします。

3枚目が令和2年度の小中学校入学式の一覧表になります。中学校の入学式が4月6日月曜日、小学校が次の日の4月7日火曜日ということになっております。3月議会で副市長が決まれば、副市長が結城市に入ってきますので、空欄になっております。

また、小学校の入学式においては、今現在の課の職員、部長の名前、課長の名前が入っておりますけれども、そちらについては人事異動があれば変更になりますので、そのようなことで予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。

私からは以上です。

教育長

事務局から報告がございましたが、ご質問等ございましたら。  
これは改めて通知とか、そういうのが来たら。

学校教育課長  
教育長

学校から直接あると思いますので。  
かしこまりました。  
それでは、よろしくお願ひいたします。  
報告第2号についてはよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

教育長

第2号については以上といたします。

### ◎報告第3号 第12回「新川和江賞～未来をひらく詩のコンクール～」について

続きまして、報告第3号 第12回新川和江賞につきまして、事務局の説明をお願ひいたします。

生涯学習課長

皆様、お手元の次第で始まります資料に戻っていただきまして、5ページをご覧くださいればと存じます。

報告第3号 第12回「新川和江賞～未来をひらく詩のコンクール～」について。

上記のことについて、別記のとおり報告する。

令和2年1月24日提出、結城市教育委員会教育長、小林仁。

資料、先にまた進んでいただきまして、6ページ目、7ページ目に今年度の受賞者一覧等を掲出いたしましたので、皆様のお手元に出させていたでている次第でございます。

まず6ページ目ですけれども、今回、新川和江賞、数えまして第12回を迎えるということになってまいりました。

応募者総数につきましては2,444名の方から作品をお寄せいただいたということでございます。こちらにつきましては、今年度も前年度と同様に、新川和江先生のほうから審査委員のほうをお願ひされたということで、武子先生を初め、センダンの木の皆様に審査のほうをお願ひいたしま

して、今年度最優秀作品でございます新川和江賞については、結城南中学校2年の湯本有紗さんからお寄せいただきました「おばあちゃん家」という詩のほうで1点最優秀賞ということで、新川和江賞を受賞作と決定させていただいております。

また、そのほか優秀賞が12人、優良賞が28人となっております、こちら内訳につきましては、お手元の資料7ページ目、受賞者一覧、次第のとおりでございます。

こちら表彰式につきましては、2月9日日曜日になりますが、2時から情報センターの3階多目的ホールにおきまして実施を予定しているところでございますので、是非ともこちらのほうにつきましてご協力いただければという次第でございます。

以上でございます。

教育長

事務局から報告ございました。

ご質問ございましたらお願いいたします。

中村委員。

中村委員

こういうすばらしいイベントというか、ずっと続けていかれると本当にいいと思うし、新川先生ちょっと都合あるかもなんだけれども、この選考の段階では全く部外者と、ただ事務職等は入らないんですか、一切。

教育長

どうぞ。

生涯学習課長

こちら選考に当たりまして、事務局が実際関わりますので。

中村委員

そうすると、委託された……

生涯学習課長

武子先生初め、センダンの木の皆さん。

中村委員

センダンの木の皆さん。

生涯学習課長

はい、3人の方に受賞作を選んでいただくような形でやっていると思います。

中村委員

よく学校などでは色んな配慮をしながら、学校が少しは散らばるようになりたいな、そういうことも考えるんだけど、それは一切なしでね。

生涯学習課長

ないのですが、今回優秀賞につきましては、各小学校、中学校、それから、お寄せいただいたのは結城二高の方からもいただいているんですが、各学校からお1人ずつ優秀賞については選定されているというような指定になっております。

中村委員

そうですか。

教育長

それは配慮いただいています。

中村委員

若干教育の中でのやっぱり配慮というものも必要だなと私、思ったんで、そこは配慮されている。わかりました。

教育長

そのほかございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

教育長

それでは、報告第3号 新川和江賞につきましては以上といたします。ありがとうございました。

◎報告第4号 第20回結城シルクカップロードレースについて

それでは、続きまして、報告第4号 第20回結城シルクカップロードレースにつきまして、事務局よりお願いいたします。

スポーツ振興課長 資料の8ページと9ページをお開きください。

報告第4号 第20回結城シルクカップロードレース大会について。  
令和2年1月24日提出，結城市教育委員会教育長，小林仁。  
9ページをご覧いただきたいと思います。

シルクカップロードレース大会につきましては，2月16日の日曜日，鹿窪運動公園を会場として行われます。参加申し込み数につきまして，種目別に一覧表として載せてございます。

組数で申し上げますと3，129組，延べ人数にしますと3，364名，昨年から比べますとちょうど100名参加者が減っております。

この中で結城市内の方につきましては1，204組，延べ1，339人の市民の方にエントリーをいただいております。

委員の皆様におきましては，ご来賓といたしまして大会の開会式に参列をいただきたいと考えております。開会式は当日の8時50分から鹿窪総合体育館の玄関前で開会式を行いますので，ご列席のほどをよろしく願います。

後で事務局のほうから案内状と駐車券を同封させていただきますので，ひとつよろしく願います。

以上です。

教育長 事務局から報告がございました。

ご質問等ございましたら。

(発言する者なし)

教育長 事務局から後ほどご案内があるというようなことで，お世話になります。報告第4号についてはよろしいでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

教育長 ありがとうございます。

報告第4号については終わりいたします。

以上をもちまして，本日の案件については終了いたしました。

慎重なご審議，ご意見をいただきましてまことにありがとうございます。

教育委員会1月定例会を閉会いたします。

傍聴はなかったということですね。

学校教育課長 なかったですね。すみません，お騒がせしました。

午後2時15分 閉 会

上議事録は事実に相違するところがないことを認め、下に署名する。

結城市教育委員会教育長

結城市教育委員会委員